

# 令和4年度兵庫県中学校高等学校青少年赤十字協議会 加盟式・例会（第1学期）報告書

- 1 日 時 : 令和4年4月24日(日) 10:00~15:30
- 2 場 所 : 日本赤十字社兵庫県支部  
(神戸市中央区脇浜海岸通 1-4-5)
- 3 担当校 : 兵庫県立尼崎小田高等学校
- 4 出席者 : 加盟校メンバー・指導者、  
兵庫県青少年赤十字協議会、  
兵庫県青少年赤十字賛助奉仕団、支部職員等 【計41名】
- 5 参加校 : 神戸第一高等学校、滝川第二中学校・高等学校、兵庫県立柏原高等学校、兵庫県立尼崎小田高等学校、加古川東高等学校【計5校】



## 6 内 容 :

本加盟式は、年度初めに新メンバー（生徒）を迎え、メンバー相互の新たな交流を図るとともに、青少年赤十字のメンバーとしての意識付けを目的として開催しており、5校から24名のメンバーが参加しました。代表として兵庫県立尼崎小田高等学校のメンバーが加盟登録申込票を提出し、兵庫県支部事務局長から加盟登録証が授与されました。

その後、JRC100周年記念旗への寄せ書きを行いました。

例会では、昨年度に実施された本社スタディー・プログラムに参加したメンバーからの報告のあと、こころのケア研修で災害時のこころのケアについて学び、次に、担当校である兵庫県立尼崎小田高等学校の昨年度の活動報告していただきました。そのあと、2人1組となり、災害時に避難所で食べられることはもちろんのこと、賞味期限が近づいたら、「大きな災害がなくて幸いだっただ。」というしあわせを噛みしめながら中のお菓子を食べる、平時においても災害を忘れないようにという思いの込められた「お菓子ポシェット」や、災害時に貴重な水を使用せず、太陽光で調理ができる、SDGsにも配慮した「ソーラークッカー」を製作するグループ活動を実施しました。そして、グループ活動を通して考えたことを話し合い、発表しました。参加したメンバーからは、「こころのケア研修やお菓子ポシェット、ソーラークッカーの製作を通して、改めて災害時に“備える”ことの大切さを学べた。」という声がありました。

